

令和2年度 佐賀県緑化運動・育樹運動ポスターコンクール 審査会 作品講評

【全体】

- ・地球環境を考える題材から、身近な植物を、大切に育てていこうとするものなど、テーマは小学生から高校生までそれぞれの成長段階にあった幅広いものであり、楽しく審査することができました。
- ・表現方法も、多様であり、見ごたえのある作品が多く素晴らしかったです。
- ・個性の表れた絵が多く楽しみながら審査をすることができました。芽がでるところ、木に育てるところ、林や森に人や動物が集まる場所など、いろいろな視点から、緑化について考え、描かれていました。今後もその気持ちを忘れないでほしいです。
- ・地球や自然を守ろうという意識が応募全作品から伝わってきました。
- ・人や動物を森の中や小さな苗木の中に描き、絶妙なバランスで表現されていました。
- ・また、小中高生いずれも、自分たちで緑や森を守り育てていくというような強い意志も感じられて、感動しました。

【最優秀賞(小学生の部)】

- ・子供らしい素直な気持ちが、伝わってくる作品であり、自分の生活の中に緑があふれ、緑と共に楽しく過ごす場面が描かれているのがほほえましかったです。
- ・1本の木にたくさんの人や虫が集まって、みんなできを育てようという気持ちが伝わってきました。小学生らしい楽しい絵ですね。
- ・樹木を真向から描いたり、そこに住む昆虫を素直に表現するなど、小学生らしい作品でした。

【最優秀賞(中学生の部)】

- ・テーマについて、たくさんの視点を持ち、自分の思いを中学生らしい、方法で表現できていました。地球の表現が工夫されており完成度を高めていました。
- ・いろいろな要素が詰まった絵で楽しいながらも多くの事を考えさせられる絵でした。
- ・なぞのキャラクターを描かれており、ユニークな作品に仕上がっていました。

【最優秀賞(高校生の部)】

- ・自分と自然との関わり方を考え、自分の思いを、工夫して表現できていました。画面構成も変化に富み、着彩の過程もていねいに制作された、すばらしい作品でした。
- ・森や木を大切に育てることの必要性が絵に表れていました。高校生らしい発想で素晴らしい絵に仕上がっていました。
- ・高校生になると、さらに描画表現が壮大で、タッチも細かく、物語風に仕上げた作品になっていました。